

尼崎労働者安全衛生センター

第22回総会 ご案内

2011年8月25日
尼崎労働者安全衛生センター
議長 松原 保

まだまだ酷暑が続く中、皆様はいかがお過ごしでしょうか。私たち安全センターは間もなく22回目の総会を迎えます。参加団体の拡がりを実現できていませんが、各労組の真剣な関わりで、この一年も着実に安全衛生活動を進めることができました。

新年度の総会では、世界的な問題となっている原発について、設計や工程管理を担当した技術者の方から、

- ★ 福島第一原発設計に大問題
- ★ 設計時、津波は想定されていたのか
- ★ 原子炉の底にはたくさんの穴
- ★ 通常運転でも原子炉の配管は・・・
- ★ 浜岡原発は活断層の真上

などの内容で特別講演をしてもらいます。ぜひぜひ多数御参加下さい。(どなたでも参加可。無料)

記

と き 9月29日(木)午後6時～8時

特別講演 「原発は“安全第一”で動かせるのか？」

講 師 菊地 洋一さん(元 GE 原発設計者)

と ころ 市立尼崎労働センター3F

☎(06)6482-6180

※ 総会終了後、恒例の懇親会を予定しております。(500円)

問合せ先 塩見、飯田
06-4950-6653(FAX 共)

講師プロフィール 菊地 洋一さん

1941年岩手県釜石市に生れる。

32歳まで建築コンサルタント。オイルショック後、米国 GE 社の原発技術者として、東海・福島原発建設に従事、原子力の闇の世界を知る。

81年以降6年間、中近東のアブダビを中心に石油生産関連施設の現地法人 GAMA の責任者。ペルシャ湾は流失した油で汚染され、戦争による環境破壊を体験する。

帰国3年後東京を離れ、50ccバイクで全国を放浪。草花や昆虫の姿に命の尊さと美しさを感じ、撮影するようになる。

この10年、鹿児島大学で地球環境エネルギー論を担当。脱原発社会を目指したボランティア活動をしている。